

平成 25 年 度

事 業 計 画 書

社 会 福 祉 法 人 あ ゆ み 会

国 立 あ ゆ み 保 育 園

平成25年度 事業計画書

本年は、耐震・修繕工事の為、4月より8月くらいまで、矢川南保育所を仮園舎として利用しながらの保育及び、育児支援の諸業務を行なっていきたい。同時に新園国立あおitori保育園も25年4月の開設の為、職員の人事異動も多く、場所的・人的な不安をあたえることの無い様に、保護者ともしっかりと連絡を取りながらやっていきたい。

- ◇ 平成25年度の取り扱い予定人員は、5才児20名、4才児12名、3才児13名、2才児13名、1才児10名、0才児6名、合計74名。尚、一時保育の定員は一日あたり7名。但し年度内人員変更も有りうる。
- ◇ 職員数は、常勤職員18名、(園長、主任保育士1名を含む保育士12名、栄養士1名、調理師2名、用務員2名)他障害児保育士2名、一時保育士1名、非常勤保健婦1名、非常勤事務2名、非常勤特例保育士等9名、嘱託内科医師、嘱託歯科医師他とする。但し園児の途中入所により増員も有りうる。

1、保育事業運営

(1) 児童の処遇

イ、健康の保持増進 戸外遊びを推奨し、薄着の習慣・手洗い・うがい・歯磨き等の衛生生活習慣を身につけ、午睡による休憩の必要性、食事の必要性を促し、理解を得ていく。

- 日々保健師によるクラス巡回を施行し、全園児の健康状態の把握をする。
- 定期健康診断(プール前)
- 歯科検診 歯科衛生指導(年一回)
- ぎょう虫検査(年一回) 尿検査(年一回)

※ 障害児等に関する心理相談員・小児科医による心理相談

- 身体測定(毎月)

○0才児乳児健診（毎月第三水曜日）

ロ、栄養管理 毎週月曜～土曜までの完全給食を実施。

○偏食指導 毎月、職員全体会に於いて情報交換し、献立作成の基準とする。

給食時間前にクラスを周り園児対象に食育指導や行事、季節に合わせた調理保育を行う。（対象2・3・4・5才）

又、クラス懇談会等に於いても個々に協力要請を行う。

○栄養基準 熱量571カロリー 蛋白質19.2グラム 脂肪17.7グラム（幼児1日1人当たり）

熱量550カロリー 蛋白質18.0グラム 脂肪17.0グラム（乳児1日1人当たり）

献立表を毎月家庭に配布し給食内容を周知させる。年4回、季節の給食だよりを配布する。

また、その日の給食食材と給食サンプルを展示する。

ハ、保 育

自然に恵まれたこの地区を大いに利用し年少児と年長児との交流の中で戸外散歩を多く取り入れ、年少児に対するいたわりの心が育つよう、仕向けると同時に一人ずつが、心身共に健康であるよう、又、あゆみ保育園の大目標である「自然が
いっぱい環境で」「本物に出会い、感性を磨く」「大事な乳幼児期にたくさんの経験を」をモットーに保育を進めて行く。

ニ、時間外保育及び延長保育

朝7:15より夕6:15分迄 希望者の園児をスムーズに受け入れられる様、勤務体制をとる。

また、夕方6:15から7:15までの延長保育を実施。

ホ、安全管理

○交通安全対策指導の徹底

集合時に紙芝居、お話等で指導を行う。又、園外散歩の折、その都度その場に応じ指導する。

○感染症の早期発見 早期予防を施行し、感染予防対策に努める。手洗い、うがいの徹底・予防接種の推奨・感染源、

感染経路の状態を把握し、流行を防ぐ・感染のおそれのある場合は速やかに隔離を行なう。

○SIDS対策 午睡中に睡眠状態を10分毎に観察していく。

○災害の場合の避難（年12回と図上訓練）

（第二金曜、集合時に訓練指導を行う）

○大規模余震等に備え防災対策の再度見直しを行う。保存食の展示・試食

○月一回、安全点検表にチェックし、安全を確認する。

○リスクマネジメント→ヒヤリハット・軽傷事故の調査と対策 アレルギー食児への対応

園内設備の安全点検と大規模修繕

○職員研修として防災館（立川市）での実演研修

○保育所等防災対策等強化事業費を用いて、より一層防災用品の充実を図る。

へ、誕生会（毎月第三木曜） 毎月誕生会を行ない、成長の喜びを確認する。（0才～5才参加）

ト、公開保育 10月 運動会 11月 あゆみ祭（作品展） 2月 お遊戯会

チ、当初は父母のニーズにより細かく対応するため、一期は、6月に個人面談行う。（必要に応じ家庭訪問）

二期は12月、三期は3月に懇談会を行う。

リ、園外保育

春 多摩動物公園（3・4・5才）未定（2才） 秋 府中の森公園（3・4・5才）府中郷土の森（2才）

〈年長児お別れ遠足（2月フジテンスノーリゾート）〉

目的（広い自然の中で楽しく友達と行動を共にする。又公德心を身につける。）

ヌ、散歩

笹山広場、ママ下湧水、郷土館、市内の公園、憩いの広場等へ出かける。

ル、運動会

園児、家族、卒園児及び近隣小学生の参加により行う。 姉妹園（あおいとり保育園）との交流。

ヲ、その他 季節の行事

子どもの日の集い、夏祭り、敬老の日の集い、ハロウィン、クリスマス、レストランごっこ、さつまいも掘り果物狩り、野菜狩りなどの行事に参加する。

近隣小学校との交流を図る。

ワ、教室

体育教室（内倉高彦）対象 3才～5才 毎週金曜日

鼓笛教室（佐伯正彦）対象 4才～5才（月2・3回）

剣道教室（内倉高彦）対象 4・5才 月1回

自然教室（大橋田鶴子）対象 2才～5才（2才年3回・3～5才年4回）

英語教室（ECCジュニア講師）対象 3～5才（月3・4回程度）

絵画教室（大住 陽介・内部講師）対象 4・5才（年3・4回程度）

カ、一時保育や地域の子ども達との交流

誕生会や季節の行事を通して交流を深める。

コ、楽器遊び

2～3才児において鼓笛教室につながるような楽器遊びをしていく。

ク、絵本(推薦図書等)

クラスの絵本の見直しをしながら学期ごとに合った絵本を購入し導入していく。

(2) 職員の処遇

イ、健康管理

職員検診（年一回）レントゲン 検尿 血液検査 心電図 聴力 視力検査の実施

偶数年齢の女性職員に対し、婦人科検診、検便（給食担当・調乳担当 補食担当：年12回）

ロ、待遇

当園給与規定給与表に基づく基本給、期末手当、その他諸手当の支給。

ハ、研修会

○国及び都の主催する研修会参加及び東社協、民保協、地域園長会等。その他園長が必要と認める研修又は講習会、園内研修に積極的に参加する。

○園内研修（保健：救急法・病気への理解）

○新人研修

ニ、職員会

職員全体会議 1:45～3:15（月によっては5:00～6:30）

4/18 5/29 6/20 7/18 9/2 9/26 10/26 11/21 12/19 1/23 2/20 3/27

その他必要に応じて2:00～3:00に担任会・リーダー会・リスク委員会を行う。

ホ、福利厚生

社会福祉医療事業団及び東社協従事者共済会の退職共済会に対象者全員加入。

年度末の親睦会等を行なう。（幹事役を毎年交替にし、全体の意見を第一として職場の明るい楽しい雰囲気づくりに努める。）

2、保育事業管理

（1）事務関係

イ、経理

新会計基準に基づき複式簿記により行なっている。毎月初めに前月分試算表を園長に提出、

残高の明示、歳入、歳出明細、予算執行等の確認等、正確を期す。又、決算終了後、理事会の承認を得て法人資産の登記を行なう。

ロ、園だより

- 毎月一回発行し、園の保育方針や予定等を父母に伝え、理解と協力を努める。
- クラスだよりも同時に発行し、子どもたちの様子をできるだけ細かく父母に知らせる。
- 給食献立表も毎月発行。
- 保健だよりも、毎月発行する。感染情報ボードを利用し、園で流行している病気をお知らせする。
- その他随時必要事項の伝達を「お帰りなさいボード」にて掲示する。
- ホームページの管理と更新
- 今年度もネットによる育児支援のお便り「いちご便り」を発行。(パートナー登録者には郵送)

(2) 設備・備品・修繕関係

本園改修において総合的な修繕、及びそれに伴って必要となる備品を揃える。

イ、本園改修・仮園舎プロジェクト

3、 会計

収支予算…国、都、市の措置費、補助金、単価と園児数に基づき収入を算定し人件費、管理費、事業費等の支出もそれぞれの基準により試算した。

児 童 ・ 職 員 健 康 診 断 予 定 表						
	児 童	予 算 額	備 考	職 員	予 算 額	備 考
6月	尿検査	14,800	200円×74人			
〃	歯科検診	40,000	山本歯科			
〃	定期健康診断	0		定期健康診断	200,000	

〃	プール前検診	0		X線撮影	0	
〃	蟻中卵検査	11,100	150円×74人			
11月	定期健康診断			定期健康診断	0	
				インフルエンザ	48,000	2000円×24人
定期	身体測定 (毎月)			調理乳児担当 (細菌検査)	94,248	単価 7,854/月
〃	0才児検診(毎月)					
		65,900		小計	342,248	
				合計	408,148	